

# 東九州メディカルバレー構想特区



## 特区の主な目標

○医療機器から介護・福祉機器にも領域拡大を図り、医療関連機器産業の集積を通じた地域活性化を目指す。

【計画の3つのポイント】

- ① 産学官連携による研究開発の強化
- ② 裾野の広い医療関連産業の集積拡大
- ③ 海外人材育成を通じた日本式医療システムの普及促進



【これまでに上市された医療機器(例)】



電気刺激装置DRIVE  
(H26.10販売開始)  
(株)デンケン



カフ圧調整器  
(H26.4販売開始)  
トクソー技研(株)



コウブライト  
(H28.11販売開始)  
安井(株)

## 『産学官連携研究開発促進事業』による医療関連機器の開発促進

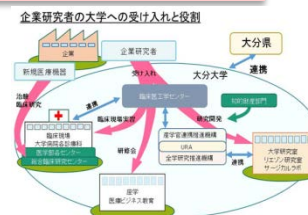
【医療関連機器の研究開発拠点づくり】

地域の大学医学部に設置した研究開発拠点を活用し、東九州地域発の医療関連機器開発に向けて産学官で共同研究の推進を図る。

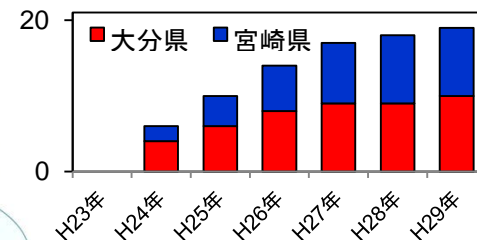
<大学連携による研究開発を促進>



<医療関連産業の集積拡大>



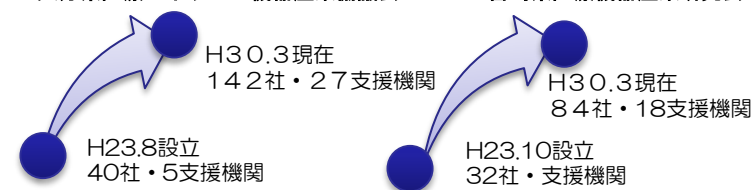
○新規医療機器製造業登録事業所数



- 大分大学・宮崎大学・九州保健福祉大学等を中心とした産学官連携の医療関連機器開発
- 大学等からの臨床ニーズ発信、介護・福祉・看護機器分野での新たなニーズの発掘

○大分県医療ロボット・機器産業協議会

○宮崎県医療機器産業研究会



## 特区における効果

- 県内企業の医療機器の研究開発が進展、さらに介護・福祉機器分野での参入企業の拡大
- 医療機器産業への新規参入を目指す企業や医療機器製造業許可等の取得企業は着実に増加
- 医療関連分野で海外展開を目指す地場中小企業も増加

【評価指標】数値目標・実績(H29年度)

	【目標】	【実績】
①医療関連機器の市場化件数	3件	3件 (進捗度100%)
②新規医療機器製造登録事業者 ・製造販売業許可事業者数	2件	3件 (進捗度150%)